

# 久宝寺事業センター

## 1 工場概要

- ▶ 住所 大阪府八尾市神武町2番35号
- ▶ 従業員数 約430名 (内 クボタ従業員:約260名)
- ▶ 敷地面積 38,102㎡

## 2 事業概要

### ▶ 事業内容

久宝寺事業センターは(以下事業所)の発足は、昭和48年。それまでクボタ創業の地である船出町工場(大阪市内)で生産していた計量機器、自動販売機事業の飛躍的拡大をはかるために、現在の大阪府八尾市へ移転したのが始まりです。昭和52年には粉碎機器部門が枚方製造所から移管され、以来、計量機器・自動販売機・粉碎機器の3つの事業が当工場の中核を形成してきました。

その後、昭和60年には電子機器の組立部門が発足。さらに昭和61年にはK-CADの開発が行われるなど、時代の脚光を浴びるハイテク分野への積極的な事業展開を推進しています。一方、事業が拡大した自動販売機部門は、平成元年に新しく建設された竜ヶ崎工場(茨城県)へ移管されました。

現在では、電装機器事業部門及びその関連会社である(株)クボタ計装関西支社、そして、環境エンジニアリング事業本部門の関連会社であるクボタリテックス(株)、クボタメンブレン(株)の3事業が開発・設計・調達・製造・販売・サービス等の業務を行っています。

### ▶ 主要製品

#### (1)株式会社クボタ 電装機器事業部

##### 計量機器関連事業

##### <標準はかり>



台はかり



防塵防水台はかり



耐圧防爆台はかり



重量指示計

##### <トラックスケール>



トラックスケール



ホイストスケール

# 久宝寺事業センター

## 計量システム関連事業

### <LPG充填システム>



回転式ACAD型充填機

### <粉粒体供給システム>

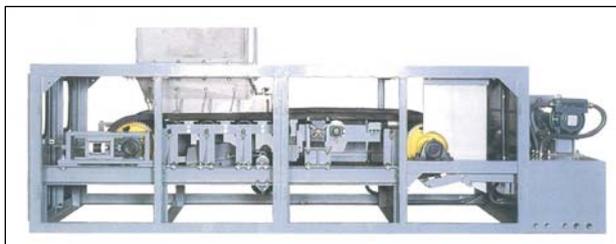


ベルトウイングフィーダ



カセットウイングフィーダ

### <産業用はかり>



ポイドメータ



フレコンバックスケール

## 制御システム事業



クリーン精米器



KG-X



米伯楽



フルーツセレクト

## CAD事業



クボタ Design FACT  
(Autodesk Inventor  
(3次元CAD)対応)



クボタ K-CAD PEDRAS AC  
(AutoCAD対応)

## 券売機事業



TV3800シリーズ

## 久宝寺事業センター

### (2)クボタリテックス株式会社



マスチフ(一軸破碎機)

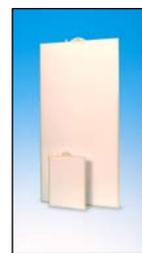


アイダル  
(縦形回転式破碎機)

### (3)クボタメンブレン株式会社



浸漬型膜分離装置  
液中膜



膜カートリッジ

## 3 工場変遷

昭和48年 9月22日	船出町工場より衡器・計量機器、自動販売機事業が移転。
昭和52年	粉碎機器部門が枚方製造所より移管。
昭和60年	電子部品組立部門の発足。
昭和61年	K-CADの開発開始。
平成元年	自動販売機部門が竜ヶ崎工場へ移管。
平成10年 4月	技術開発本部電子技術センターが転入。
平成12年 4月	電装機器事業部FA営業部およびその関連会社である(株)クボタ計装関西支社が転入。
平成13年 8月	リサイクルエンジニアリング部の製造課が当事業所の所在のまま、関連会社であるクボタリテックス(株)に移管。
平成13年10月	FA技術部がFAエンジニアリング部に集約。
平成14年 2月	水環境エンジニアリング事業部門の関連会社であるクボタメンブレン(株)が転入。
平成14年 3月	技術開発本部電子技術センターが転出。
平成14年10月	事業所の名称を「久宝寺工場」から「久宝寺事業センター」に改称。
平成14年11月	リサイクルエンジニアリング事業部の技術部、工事管理部門および、環境エンジニアリング事業部の機材課が阪神事務所に転出。
平成15年10月	平成14年に阪神事務所に転出したリサイクルエンジニアリング技術第3部の一部が復帰。
平成16年10月	ロードセル課と電子機器課がFAエンジニアリング部傘下に編入。また、開発課が新規に発足。
平成17年 4月	電装機器事業部におけるはかり事業の再編成が行われ、FA営業部とFAエンジニアリング部がBU(ビジネスユニット)分割され、計量機器部と計量システム部が発足。
平成18年 5月	環境リサイクル事業部リサイクル技術部門が阪神事務所より転入・復帰。

## 久宝寺事業センター

### 4 環境方針

#### ▶ ISO環境方針

久宝寺事業センターの環境方針は、「クボタ地球環境憲章(2001年8月改訂版)」に示されている基本理念及び行動指針に基づいて策定しています。

久宝寺事業センターでは、電子・電気をコア技術とした生活の基本となる計量器や精米機などの電装機器事業、廃棄物の資源化に貢献する破碎・選別プラントのリサイクルエンジニアリング事業、及び汚水をきれいに蘇らせる液中膜事業の3つの事業が開発・生産を行なっています。更に、計量器の販売・サービスに携わる(株)クボタ計装、リサイクルエンジニアリング事業の製造・サービスに従事するクボタリテックス(株)、液中膜の製造・サービスを担当するクボタメンブレン(株)の3つのクボタグループ会社がそれぞれの所属する事業部と連携しながら事活動を行っています。

これらの事業組織と久宝寺事業センターのスタッフが助け合い、連携しあって、エネルギー消費の低減、廃棄物の発生抑制と分別による再資源化の推進、環境に配慮した製品・サービスの市場への提供などの環境保全活動を行い、以下に示す「久宝寺事業センター 環境行動指針」に基づき、将来の地球環境の維持・改善に役立つよう、今後とも環境に配慮した企業活動を継続して着実に推進していきます。

#### 久宝寺事業センター 環境行動指針

1. 環境関連法規制、八尾市をはじめとする関連自治体の条例等を遵守して、各々の事業がその事業実態に応じた環境改善への具体的な目的・目標を掲げ、その達成に向けて努力するとともに、その実施状況を定期的に評価・見直しを行って継続的改善を推進します。
2. 生産活動に伴って発生する環境に著しい影響を及ぼす項目については自主規制値を設定し環境保全に努めます。更に事業のあらゆる側面で、エネルギー効率やリサイクルのレベルアップに意を用い、全員の創意工夫により資源の有効利用と廃棄物の削減に向けた活を行います。
3. 新製品開発や機器・プラントなどの設計にあたっては、省資源化・省エネルギー化・リサイクル率向上・電波障害防止などをできるだけ織り込んだ製品アセスメントを実施し、製品の環境負荷の低減に努めます。
4. 製造・サービス活動においては、原材料、部品に加えて、梱包材等の補助材料、設備などの購入にあたって、より環境に配慮したものを採用するなど、環境保全性を高めるように努力します。

より多くの方が、久宝寺事業センターという複数事業が共用する拠点とそれぞれの事業にかかわる環境保全の重要性をよく考え、様々な環境保全活動に前向きに取り組むように、この方針を、クボタの従業員、クボタグループ会社の従業員、久宝寺事業センター構内の協力会社の従業員に配布し、教育、啓発に活用するようお願いいたします。又、この方針は、社会への責任を示すため、外部からの要求に応じて一般の人が入手可能なものとします。

改訂3 2002年10月 1日

制定 1999年 1月11日

株式会社 クボタ 久宝寺事業センター所長

#### ▶ ISO認証取得状況

1999年3月 ISO14001(1996年版)を取得

2006年3月 ISO14001(2004年版)で更新

# 久宝寺事業センター

## 5 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	最終達成目標	2005年度		
					目標	成果	自己評価
循環型社会の形成	産業廃棄物総排出量の削減	排出量原単位	2004	▲10%	▲10%	▲35.3%	◎
	ゼロ・エミッション化	再資源化率	—	99%以上	98%	97.9%	△
地球温暖化防止	温室効果ガス削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位	2004	▲6%	▲1%	▲5.1%	◎
	CO <sub>2</sub> 総排出量削減	CO <sub>2</sub> 排出量	1990	▲6%	▲14%	▲40.8%	◎
	物流のCO <sub>2</sub> 削減	CO <sub>2</sub> 排出原単位	2004	▲6%	▲5%	▲21.5%	◎
有害化学物質の削減	VOC大気排出量削減	排出原単位	2004	▲30%	▲5%	4.60%	×

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 △:目標一部達成 ×:目標未達成

### 環境 TOPICS

平成18年3月末

第1工場西側設置コンプレッサーを必要所要量に見合った能力に更新し消費電力の削減を図った(37kW→15kW)。

<省エネ効果(年間)>

消費電力削減: 約38,400kWh

電力費削減: 約58万円

# 久宝寺事業センター

## 6 環境会計

### ① 環境投資

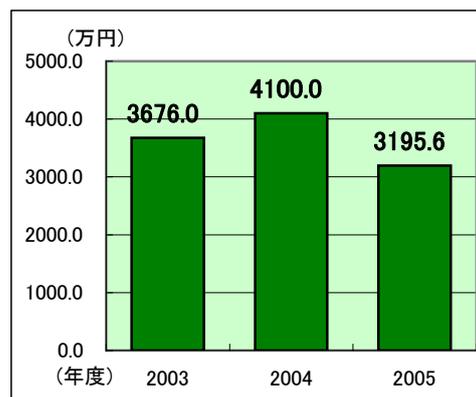
2005年度:939.3万円



### ② 環境保全費用

2005年度:3195.6万円

人件費は含んでいません。



### ③ 環境保全効果

効果の内容	効果	2004年度	2005年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	36219.45	34555.50	▲ 1663.95	▲ 4.6%
	水使用量(m <sup>3</sup> )	14425.00	12943.00	▲ 1482.00	▲ 10.3%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO <sub>2</sub> 排出量(t)	1229.29	1195.73	▲ 33.56	▲ 2.7%
	SO <sub>x</sub> 排出量(t)	—	—	—	—
	NO <sub>x</sub> 排出量(t)	—	—	—	—
	ばいじん排出量(t)	—	—	—	—
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	4.24	4.77	0.53	12.5%
	廃棄物排出量(t)	536.60	324.30	▲ 212.30	▲ 39.6%
廃棄物埋立量(t)	0.00	0.00	—	—	

### ④ 経済効果

2005年度:808万円

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	蛍光灯安定器の交換、 蛍光灯を省エネタイプに交換 etc	707 万円
	物流環境保全対策	製品出荷用運送会社の集約
合計		807 万円

# 久宝寺事業センター

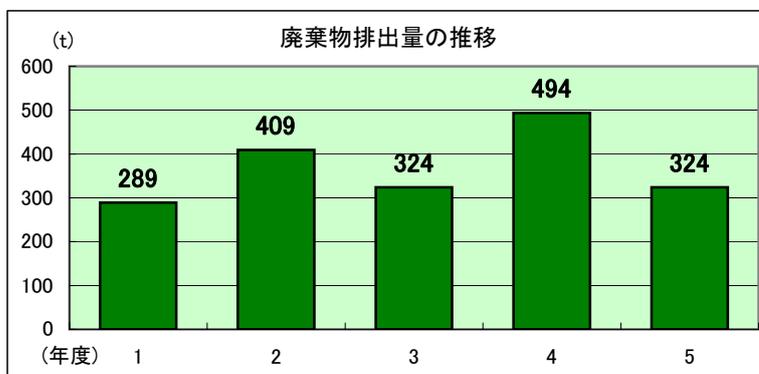
## 7 環境パフォーマンス

### ① 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

ゼロ・エミッション化

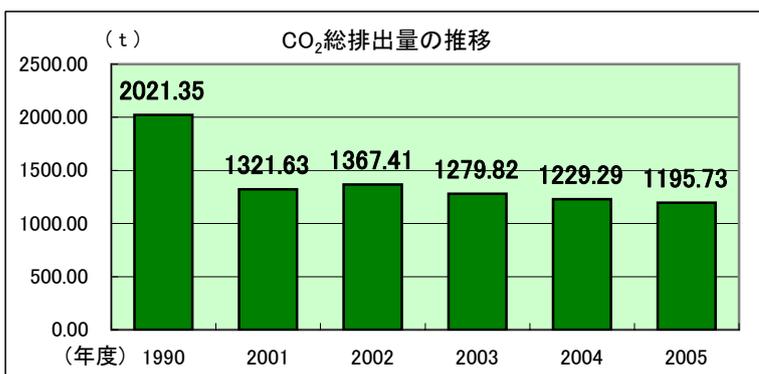
2000年度(111期)下期に  
達成しました。



### ② 地球温暖化の防止

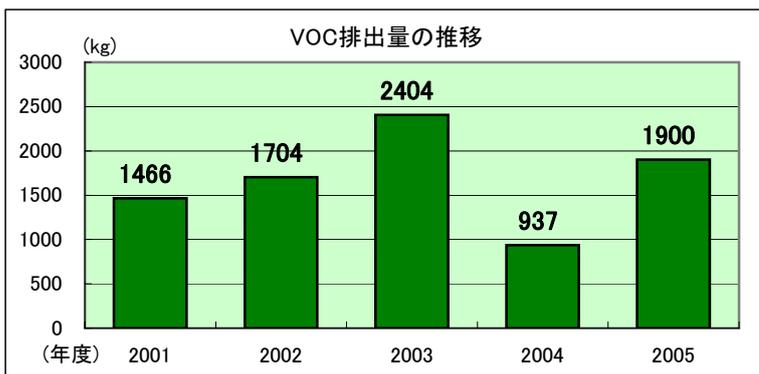
省エネルギー、  
温室効果ガスの削減

CO<sub>2</sub>総排出量の削減



### ③ 有害化学物質の削減

VOC大気排出量の削減



# 久宝寺事業センター

## PRTR法対象物質の排出量・移動量

(kg)

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
63	キシレン	800	—	—	—	—	870
227	トルエン	1,100	—	—	—	—	2000

## 8 環境コミュニケーション

### ① 地域美化活動

名 称 地域清掃

日 付 2005年 5月31日

参加人数 24名

日 付 2005年 7月29日

参加人数 24名

日 付 2005年 9月27日

参加人数 24名

日 付 2005年11月29日

参加人数 24名

日 付 2006年 1月26日

参加人数 24名

日 付 2006年 3月29日

参加人数 24名



地域清掃



## 久宝寺事業センター

## 9 サイトデータ

## ▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算GJ	
エネルギー	電気	万kWh	247.7	24348.9
	石炭コークス	t		
	都市ガス	千m <sup>3</sup>	181.8	8362.8
	灯油	kℓ	17.0	623.9
	軽油	kℓ		
	重油	kℓ		
	LPG	t	23.7	1189.7
	他			
合計			34525.3	

水使用量	万m <sup>3</sup>	1.29
------	-----------------	------

## ▶ OUTPUT

CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	1195.73
---------------------	-------------------	---------

放流先	項目	単位	No.1排水口		
			規制値	測定値	
排水	公共用水域	pH	—	—	—
		BOD	mg/ℓ	—	—
		COD	mg/ℓ	—	—
		窒素	mg/ℓ	—	—
		りん	mg/ℓ	—	—
		六価クロム	mg/ℓ	—	—
		鉛	mg/ℓ	—	—
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
	下水道	pH	—	5.7~8.7	7.56
BOD		mg/ℓ	300	9.5	
COD		mg/ℓ	—	—	
SS		mg/ℓ	300	5.0	

廃棄物排出量	t	324.3
再資源化率	%	97.9